

福王寺法林作
「ヒマラヤの花」

収蔵作品紹介

ヒマラヤの花

福王寺法林作

福王寺法林は、ヒマラヤ山脈に咲き誇る花々を描く、今最も注目されている画家である。

この絵は、ネパールの国花、シャクナゲの巨木を真紅の色彩を中心に描いた大作である。

(上掲写真)

薫房

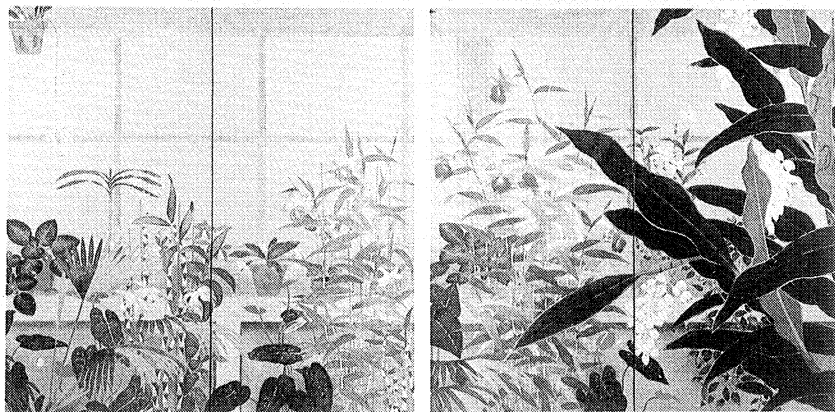
小茂田青樹作

小茂田青樹は、大正～昭和の代表的日本画家である。

この絵は、自然の題材を独特の詩情を取り入れながら、的確で鮮明な色とを写實的に描いたものである。(下掲写真)

美術館だより

小茂田青樹作
「薫房」



詳細については、四十四ページを参照